

議 事 録

公開・一部公開・非公開			部 分 非公開 理 由		
			文書管理責任者	保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
				作成日	令和7年2月10日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 健康推進課保健地域医療係 職・氏名 主任 佐々木 英美佳 印

会議等の名称	令和6年度 第3回東御市健康づくり推進協議会	開催日時	令和7年2月6日（木） 午後 1時15分～ 午後 2時40分
		場 所	総合福祉センター3階講堂
主催者(事務局)	健康推進課	司会者	武井健康推進課長・竹村会長
出席者	五十嵐 英美、松山 久美子、関 健、小林 正悟、五十嵐 壽、牛山 廣司、花岡 豊一、 中村 至、阿部 由美子、竹村 洋子、山岸 智之、武田 順子、羽毛田 有理、古平 幸恵、 オブザーバー岡田真平		
	寺田健康福祉部長、武井健康推進課長、柳澤保健地域医療係長、笹井健康増進係長		
	保健地域医療係 笠井、佐々木 健康増進係 笠井、宮澤		
欠席者	油井 今朝幸、井出 直子、荻原 絹枝		

議 題	(議題) (1) 第3次健康づくり計画(前期計画)(素案)パブリック コメントの状況について (2) 第3次健康づくり計画(前期計画)(素案)について (3) 計画（案）に係る答申について	(配布資料) 別紙会議資料のとおり
決定事項 (要点を箇条書き)	・第3次健康づくり計画（前期計画）の策定について答申書を作成した。 答申書は2/13に市長に提出する。	
次回への検討 事項		
次回開催	(日時) 令和7年8月頃	(場所) 東御市総合福祉センター

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会	副会長	開会
2 あいさつ	会長	あいさつ
	副市長	あいさつ
3 議題 (1) 第3次健康づくり計画(前期計画)(素案)に係るパブリックコメントの状況について (2) パブリックコメント実施後の計画(案)について	進行：会長	
	事務局	第3次健康づくり計画(前期計画)(素案)に係るパブリックコメントの報告、修正・変更点などについて説明
	委員	パブリックコメントが61件きており、市の計画に住民の方が積極的にこの計画案を見ているのを感じ素晴らしいと思った。メンタルヘルス、自殺対策だがゲートキーパーの地道な養成などを広めていただきたい。商工会や働く職場、家庭などいろんなところでメンタルヘルスを上手く展開して、この計画を広めて欲しい。
	委員	第4章の自殺対策計画について、市立小中学校教職員ストレスレス計画事業があるが、実際ストレスチェックを行って何か問題がある際は、学校側で対策しているのか行政まで届いてサポートしているのか具体的に教えて欲しい。
	事務局	職員のメンタルヘルスということで、行政でもまとめている。結果に関しては総務課でとりまとめを行い、各部課長とも共有している。課題がある部署については各部署ごとに対応しているのが現状。総務課では職員の全体的なメンタル相談を行っている。
	委員	全体的によくできていると思う。昔から東御市は肥満が多い。メタボや生活習慣病になっていく。その肥満がなぜ多いのかははっきり分からない。元の肥満を小さい時から減らしていくことが大切だと思っている。
	委員	歯科医師で専門的なことは分からないが、精神疾患を持っている方もそうでない方も、自殺のリスクがある。精神科医の診察や治療も必要と思うが、地域のゲートキーパーや友人・知人、家族の協力が必要になってくるのではと感じた。自殺は周囲の人にも影響する。そういった意味でも防げるものなら防いだ方が良くことだと感じている。
	委員	細かいデータを読んで理解するのは大変だった。認知症対策は地域でも大きな課題になっている。健康づくりやゲートキーパーでも関係すると思うが、市として認知症の現状を集計し統計を地域づくりの健康に入れることはないか。
	事務局	福祉課の計画にも掲載されているが、健康推進課でも保健事業と後期高齢者について同じように推進していくべきと国からも話があった。R4年度から縦割りにならないよう高齢者に対しても介入していく事業を始めている。生活習慣病の予防も認知症の予防と言われているため、健康づくり含め生活習慣病が認知症予防になると考え進めていく。
	委員	これから10年この計画で行なっていくが、これだけの内容で良いのかと思ったところがある。自殺対策計画は、引きこもりや性的マイノリティなどについてもこれからは考えていけないといけないと思う。健康については、これまでにあった特別な感染症が突然流行することもあるかもしれない。市民の規範になる計画なんだと思った。推進する組織が書かれているが、実効性があるかどうかが大切。実効性のある組織にするには日常の中で連携できるかどうかをキーポイントになる。
	委員	後期評価の部分で評価できないとなっている項目もあるが、ある程度評価行わなければいけないと思った。評価なしだとやってもやらなくても同じになってしまう。第3次計画では評価されると思っている。この計画が市民の方、組織の構成員の皆さんが周囲にどのくらい周知しているか。自分のことにならないとこの計画の内容を理解できない、触れることがないため、ぜひ周知してほしい。

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
	委員	岡田所長から毎年地区別の課題を教えていただく学習会を行なっているが、民生児童委員や推進員など役員ばかり。市民に周知していかなければ、各地区の課題は見えてこないのではないか。 コロナになって、今まで行っていた事業も中止になっているものが多い。そろそろ復活しないといけないと思っているが、市のほうから会に出向いて各地区の課題を市民の末端まで周知しないといけないのではないか。 生活困窮者も多くなってきた。高齢者だけではなく、若い人も失業したりと厳しい時代になってきている。社協とも連携して行かなければ救えないこともある。
(3) 計画（案）に係る答申について	委員	健康診断に関心がある。健診の受診率が低いことが気になるが、個人で病院に行っているからいいと言う人もいる。また、特定健診を受けると指導が入ると思うがその指導が、やかましいと言う方もいる。本人が自覚を持つまでに時間がかかる。こういった委員をやり、学んだことが多かった。
	事務局	受診率がなかなか上がらない現状がある。ご友人との会話の中で受診しているからとのお話があったが、かかりつけ医がいる場合も、市内外に関わらず特定健診を受けていただける制度になっている。市民の皆様に周知を行いたい。 保健指導については必要な方に、こちらからお電話することがある。みなさんが不快にならないように指導していく。
	会長	健診率・孤独・自殺予防・認知症・感染症対策などそれぞれの不安を感じている中で、これからの対策や活動、周知や健康意識の向上などご意見いただいたので、これを踏まえて第3次健康づくり計画の答申としたいと思いますがいかがか。賛成の方は挙手をお願いしたい。
	委員	（全員挙手）
	会長	答申書の作成を事務局に一任し、委員の皆様に確認を依頼する。
	事務局	資料に答申案をつけている。いただいた意見から、【計画について広く市民、関係者に周知し、それぞれが連携して計画を進めてください】というような趣旨の附帯意見をつけ、会長・副会長に確認の上、答申したいがよろしいか。
	委員	異議なし
	事務局	ただいまご了解いただいた内容をまとめ、2月13日木曜日に会長・副会長と市長に答申する。
	委員	異議なし
	事務局	本日オブザーバーとして参加いただいている、身体教育医学研究所の岡田所長から意見を伺う。
	オブザーバー	この計画の分析評価にも関わらせていただいた。第3次計画の評価状況が掲載されているが、国や県の基準に従ってA～Eまで評価している。Aの「目標達成」は分かりやすいがBの「改善傾向」Dの「悪化」に関して、統計的に差があるかどうかで評価の枠組みに入れさせていただいた。県の「信州保健医療総合計画」では、国の評価とは異なる基準で評価している。市民の皆さんと一緒に行う計画であるため、周知する際に腑に落ちやすいより良いものを考えていくことが大切だと思った。
	会長	岡田所長ありがとうございました。本日の議題はこれで終了したいと思います。慎重なご審議ありがとうございました。
	事務局	委員の皆様におかれましてはこの1年間、計画策定に向けて忌憚のないご意見等を頂戴いたしましたして誠にありがとうございました。
4 その他		

[illegible]